

議会だより

おおいそ

第189号

2017年（平成29年）10月27日発行



9月定例会

平成28年度

一般会計決算を不認定・・・ 2

はい！ポーズ

（関連記事20ページ）

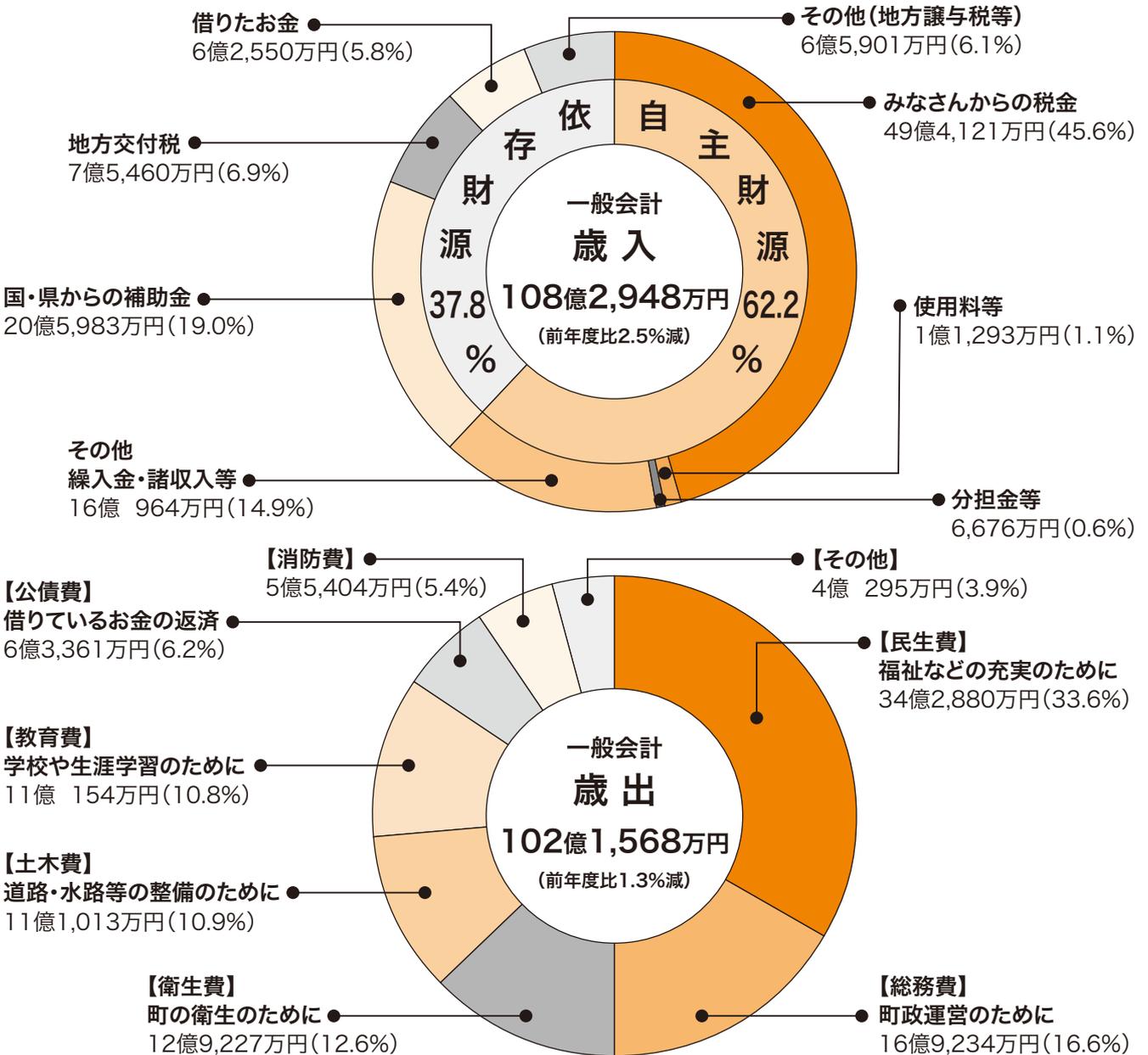
決算を不認定

9月定例会は9月1日から29日までの29日間の会期で開きました。

本会議初日は、継続費の精算、財政状況の報告、平成29年度補正予算の5議案を原案どおり可決しました。

一般質問では、9人が町長や教育長に行政事務についてたずねました。

また、平成28年度決算は決算特別委員会を設置し、4日間にわたり審査を行った結果、一般会計を賛成少数で不認定、4特別会計を賛成多数で認定し、最終日の本会議場においても、このとおり決定しました。なお、今定例会中に中学校給食に関する問題が大きく報道され、2日目の決算特別委員会を中断し、町へ説明を求めました。最終日には、中学生が安心して昼食を食べることができる環境整備を求める決議案のほか、意見書案2件を賛成多数で可決しました。



※入ったお金から使ったお金を差し引いた額は次年度へ繰越し

平成28年度 一般会計

平成28年度各会計決算

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比
一般会計	108億 2,948万円	2.5%減	102億 1,568万円	1.3%減
国民健康保険事業特別会計	46億 9,947万円	0.6%増	44億 6,741万円	0.2%増
後期高齢者医療特別会計	9億 64万円	11.9%増	8億 3,922万円	9.5%増
介護保険事業特別会計	29億 400万円	2.4%増	27億 5,164万円	0.3%減
下水道事業特別会計	17億 1,651万円	16.3%増	16億 5,910万円	17.8%増

1万円未満は、四捨五入

財政指標 平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業特別会計に係る資金不足比率	
	一般会計の赤字の大きさを示す	町の一般会計と特別会計を合わせた赤字の大きさを示す	その年の借金の返済額の大きさを示す	今後支払わなければならない負債の大きさを示す	事業規模に対する資金不足額の大きさを示す	
大磯町	—	—	4.2%	68.1%	—	
国	財政健全	14.11%	19.11%	25%	350%	20%
	財政再生	20%	30%	35%	—	—

町の財政状況は良好
町は、健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の審査に付し、結果を議会に報告、公表しなければならない。監査委員の審査結果意見書では、いずれの指標においても早期健全化基準を下回り、町財政は良好な状態であるとの結果が出された。

議場での討論

全会計に反対

【鈴木京子議員】

中学校給食問題は来年度に向け、自校方式の調査を行うなど抜本的な見直しを。みなとオアシス推進事業の基本構想策定は、町民が求める参画は行われなかった。リサイクルセンター整備事業で過大な施設建設に税金が使われた。駐輪

【柴崎 茂議員】
中学校給食の問題のほかにも日常的な業務で我慢できないことが多々ある。駐輪場は2階以上が自転車置き場で、果たして高齢者や子供に優しい町と言えるか。火葬料補助金は減額しているのに、湯水のごとく金を使い、借金を増や

場解体費用もかけ過ぎ。財政難のもと、なぜマリア道の拡幅か。国保事業は、なお保険税の軽減を図るべき。後期高齢者医療は、負担増が発生した。下水道事業は、相模川流域下水道等建設負担金を支払った。

一般会計に反対

【高橋英俊議員】

一般会計を不認定とし、4特別会計を認定とする。不認定の理由は、保育園負担金、幼稚園保育料について、不納欠損処理をしないまま、持ち越されている状況が明らかになったこと。法令では、首長は督促、強制執行、その他その

健全及び取り立てに關し必要な措置を取らなければならないとされている。債権が消滅したとき、その債権額を表示して整理しておかないと公平公正な審査ができない。公平公正な自治体債権全体の適正管理を目指してほしい。

平成28年度 こんな事業が 行われました

大磯港みなとオアシス 基本構想の策定

455万円

漁業協同組合の建物の建て替えに伴い、賑わい交流施設整備計画基本構想の策定を委託した。

病後児保育の実施

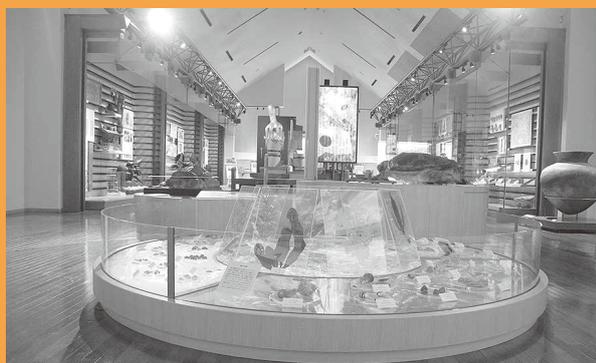
622万円



認定こども園あおばと内の「もりのうさぎ」で平成28年6月1日から実施した。登録児童数は35名、利用者数延べ34名。看護師、保育士各1名を配置。

郷土資料館 リニューアル

8,036万円



展示室リニューアル及び資料・収蔵環境の整備、中庭整備工事を行った。

リニューアル工事	7,391万円
中庭整備工事	645万円

乗合タクシーの実証運行

48万円

西小磯東地区の一部を対象とした乗合タクシーの実証運行を委託した。

マリア道の整備

2,516万円



運動公園北口や万台こゆるぎの森への主要アクセス道路の整備を行った。

整備工事	2,255万円
土地購入ほか	261万円
(工事着手率は全体の約50%)	

運動公園長寿命化対策

2,804万円



公園施設の安全性確保と機能保全を図るため、転落防止柵、ウッドデッキ及び噴水広場の改修を行った。

リサイクルセンターの建設

4億4,093万円



(仮称)リサイクルセンター建設にあたり、設計施工監理等委託と建設工事を行った。

設計施工監理等委託ほか	603万円
建設工事	4億3,490万円
(平成29年度までの継続事業)	

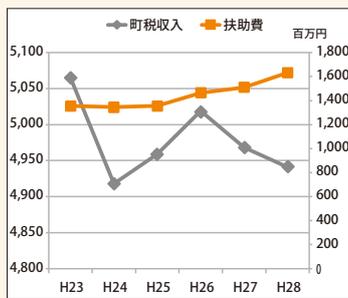
金額は、1万円未満を四捨五入

3人が総括質疑

〔文責は本人〕

税収減の影響と対策は

渡辺 順子



問 平成28年度は自主財源の根幹である町税や依存財源である国・県からの支出金も減額となった。一方で経常的に必要な扶助費や人件費、公債費などは前年より3億円以上増えた。この状況が行

財政に与える影響と対策を町長はどう考えるか。
町長 町が将来にわたって自立した行政運営を維持するために、税徴収の体制強化、町有地の処分、国庫補助金などの特定財源の確保に努める。また事業については緊急性、必要性、優先性を精査して見直し、支出の抑制をはかっていく。

議決前に予算を使ったか

柴崎 茂

品名	内容
修繕費	本庁舎3階トイレ排水管改修
施設費	大磯町東小磯1号地
借入金	大磯町大磯5号地 有楽会社建設本庁舎 代官敷地 石川 長部
契約工期	平成29年4月27日 ~ 平成29年6月9日
納付金額	¥1,080,000円
既交納金額	¥0円 (既交納いり済出数) 0円
今期支払額	¥1,080,000円
完成日	平成29年6月9日

問 9月1日の一般会計補正予算の提案で庁舎3階のトイレが詰まったとのことで、修繕費の要求があった。しかし、聞けば、既に優先順位を変更し修繕を実施したとのこと。予算は議会を通過して

でなければ使えないのに、まるで72年前の軍のような使い方だ。平成28年度もそういうことが行われたか。
町長 業務の執行に当たっては、緊急やむを得ない場合には、予算の流用や予備費の充用により、予算の増額は可能である。今回は適切な手続きであったと考えている。

施設建設関連の調査は

鈴木 京子



問 公共施設の建設につながる調査の件数、内容と総額は。

答 大磯港みなとオアシス(賑わい交流施設)整備計画基本構想業務委託のみが該当、委託費は453万6千円だった。

既存資料の収集整理、現地調査、マーケティング調査などをもとに、整備基本構想を作成した。賑わい交流施設の整備・運営方法として、公設民営方式のひとつである設計提案付指定管理方式を採用することが適当であるという結論を得た。町民参加は港湾関係者、地元関係者などだった。

監査委員の指摘

代表監査委員 高野澤 均
監査委員 奥津 勝子

平成28年度は「交流人口の増加と定住人口の安定化」を目標に掲げた「大磯町第四次総合計画後期基本計画」のスタート年であり、計画の財源不足の解消と実効性確保のため「行政経営プラン」もスタートした。予算においては、計画の着実な推進と継続的な取り組みを踏まえ「子育て

て」「教育」「健康」「観光」に力点を置いた編成が行われ、着実な事業執行が進められた。今後も人口減少、高齢化は進むとみられ、扶助費や公債費などの経常的経費の増加以外に、公共下水道事業など、臨時的に多額の費用を要する事業も山積みしている。事業の見通しや重点施

策への配分などを検討し、安定した財政運営と町民福祉の向上を望む。収入未済額や不納欠損額は、改善が見られるが、負担の公平性は原則であり、収入未済額が生じないよう、現年度分の徴収率向上を図り、新たな収入未済額の累積防止に努められたい。

決算 審査

決算特別委員会では、平成28年度予算施政方針に基づいた執行がなされたかを審査しました。中学校給食の残食率がテレビ等で大きく報道される中、多くの異物混入が明らかになり、各委員から厳しい質問が集中し、一般会計は5年ぶりに不認定となりました。

財政指標

問 経常収支比率（実質比率）が93.7%と高いが弾力性のある財政運営ができたのか。

答 適正な範囲とされる75%を超えている。もう少し下げたほうが理想的な財政運営ができるのではと考える。

不納欠損

問 歳入となる保育園負担金と幼稚園保育料に不納欠損が記載されていない理由は。

答 それぞれ、平成13年度、14年度の滞納分から不納欠損の処理をせずに収入未済額として計上している。

中学校給食

問 中学校給食にかかる全体の経費は。

答 公費の一般会計から調理・配送委託料として約3千300万円、栄養教諭の人員費が約450万円である。また、食材費として保護者負担分が約4千万円で、合計約7千750万円であった。

鳴立庵

問 平成28年度から指定管理による運営になったが、効果はあったか。

答 入庵者は減少したが、飲食の提供が可能となり、満足度は向上していると考えられる。平成27年度より約60万円経費の削減ができた。



指定管理になった鳴立庵

地方創生加速化交付金

問 交付金の用途は。

答 吉田茂展の開催経費、国府本郷23号線整備、大磯ブランド絵巻と大磯暮らし印刷製本費へ充当した。



職員の働き方

問 中途退職者の状況、相談体制は。

答 平成28年度の退職者は正規職員6名であった。相談は状況に応じ対応したほか、ストレスチェックの導入やメンタルヘルスセミナーなどの研修を実施した。

小児医療費助成

問 医療費助成の状況と1人当たりの医療費はいくらか。所得制限引き上げの考えは。

答 通院にかかる助成件数は3万9千184件、一人当たり1千558円。入院にかかる助成件数は203件で、6万1千359円。そのほか償還分を含めた医療費は総額7千554万3千220円であった。

消防指令センター

問 平塚・大磯・二宮による共同整備は期待した効果があったか。

答 大磯町にはなかった発信場所がわかるシステムの導入や出動体制の充実が図られた。また、各市町で整備するより、財政面でも効果が出ている。

防災

問 総合防災訓練で情報伝達手段であるMCA無線がつかりにくい状況であった。機器の更新を行ったか。

答 町内24局を一齐に受けたためつながらなかったが、津波避難訓練では、24局を4局に割り当てたことにつながるようになった。機器は再リースした。



町内に配備されているMCA無線機

本庁舎建設基金

問 基金への積み立て1億円の根拠は。

答 平成12年に本庁舎建設基金条例を制定した。建て替え時期を決めた具体的な計画はないが、今後必要となるので積み立てる。

5歳児検診

問 試行的に実施した5歳児検診の内容は。

答 就学に向けての相談体制を強化するため、町立幼稚園・保育園の年中児を対象にアンケートを実施。今後も親子の個別相談などにより丁寧な対応をする。

多世代まちづくり事業

問 委託料と補助金の内容は。

答 事業の担い手である「カラフル」に、町の紹介動画の制作を委託し、PRができたと考ええる。補助金は活動拠点への家賃補助である。

学校燃料費

問 燃料費の増は大磯小の灯油漏れが原因か。

答 使用量の増加もあるが、灯油漏れによる増加もあると考える。購入量や購入回数が多いことに気がつかず反省している。

教育支援

問 教育支援員の配置状況はどうか。成果や今後の課題は。

答 小学校で18名、中学校に7名を配置。児童生徒の生活面、学習面での困りごとを支援している。支援が必要な児童・生徒は増加傾向にある。人的配置や支援の質の向上が重要となる。

し尿処理

問 し尿・浄化槽汚泥処理量の内訳は。

答 大磯町7千958キロリットル、平塚市7千665キロリットル、合計1万5千623キロリットルを処理している。

決算特別委員会での討論

一般会計に反対

【坂田よう子委員】

中学校給食は、未然防止策の指導徹底がされず今日に至っていることは遺憾である。議会への説明も希薄であった。

【渡辺順子委員】

単年度収支が赤字、事業も大きく膨らんでいる。中学校給食は拙速であった。町長は反省してほしい。

全会計に賛成

【三澤龍夫委員】

予算執行に当たり、何らかしいところは新しい事業をやるとき、すべてがスムーズにいくというのは難しい。

【清田文雄委員】

実質収支比率が悪化した。計画的な財政運用が計られたか疑問。中学校給食の事態は容認できない。

【玉虫志保実委員】

施政方針で町を船に例えた。乗組員のケアをし、積み荷のバランスも考え、船の大きさに合った航海をすべき。

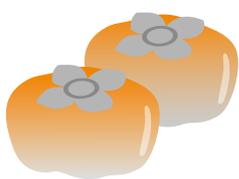
【竹内恵美子委員】

予算は適正に執行された。中学校給食は反省し、早期に対応を図るべき。子どもたちにとって何が一番大事かが感じ取れた。

全会計に反対

【柴崎 茂委員】

今回の給食、新たな未来も提示できずに、誰が信頼を寄せるか。町民の生活に密着した支出、負担を下げるのが最善の策。



決算特別委員会

委員長 二宮加寿子
副委員長 竹内恵美子

清田 文雄
三澤 龍夫
坂田よう子
玉虫志保実
渡辺 順子
柴崎 茂



大磯小灯油配管破損状況を確認



し尿処理施設にて汚泥処理状況の確認

中学校給食突然の休止

一刻も早く安心な給食を

突然の休止通知

平成29年10月12日、「中学校給食を10月13日（金）で休止する。」との内容の大磯町記者発表資料が議員に配られました。

保護者説明会の後に議会に給食休止を知らせた理由について教育長は

「保護者を優先に10月11日に給食休止を通知し、弁当持参をお願いした。事前にマスコミに知られ

たくなかったため、公開が原則の議会への通知は後にした。今後は自校方式、親子方式なども視野

に12月頃までに方針を決めたい。」と10月16日の議員全員協議会で説明しました。このため、中学校給食は新たな局面を迎

えることとなり、今後議会では福祉文教常任委員会で調査することとなりました。

保護者や議会の声

給食を望む声、家庭弁当を望む声、選択制を望

む声がある中で始まった全員給食でしたが、給食開始当初から生徒や保護者から味付けや献立改善の要望がありました。

議会へ説明・異物混入

平成29年9月12日の一般質問をきっかけに全国平均6.9%を大きく上回る26%の残食率の高さがマスコミに大きく報道されるようになりました。

さらに、新たに84件の異物混入の事実がテレビで明らかになったため、

議会は9月19日の決算特別委員会を中断し、議員全員協議会を開催し町と教育委員会に異物混入に関する説明を求めました。

その結果、初期対応の甘さ、危機管理意識や衛生管理指導の不足などが明らかになりました。

議会が安全な給食の提供を要望したため、教育委員会は翌20日からの家庭弁当の持参も可能と保護者に通知しました。

決算不認定と決議

9月29日、議会は平成28年度一般会計を不認定とし、その大きな要因となった給食問題に関する決議案を賛成多数で可決しました。（12面参照）

給食導入までの経過

教育委員会は、平成24年10月1日～平成25年3月26日まで、小・中保護者や学校長、公募町民等による「大磯町立中学校給食に関する懇話会」を設置して中学校給食につ

いて検討しました。懇話会は「早い時期に自校方式での中学校給食の実施を希望する。自校方式実施までの期間、弁当持参が困難な家庭のために、デリバリー給食での対応を検討する必要がある。」との意見を提出しました。その後、教育委員会内部で財政面や導入のしやすさなどから「デリバリー方式による全員給食」を平成26年2月19日に決定し、意見交換やアンケートなどを行いました。

9月19日に明らかになった事項

年度別の異物混入の件数	
平成27年度 (平成28年1月～3月)	40
平成28年度 (平成28年4月～平成29年3月)	32
平成29年度 (平成29年4月～7月)	12
合計	84

異物の種類								合計
毛髪	繊維	衛生害虫	虫	植物	ビニール など	金属	その他	
39	14	3	7	1	8	1	11	84

○保健所への届け出

危険物の場合は事業者が保健所に届け出る必要があるが、上記の異物について事業者が届け出たかどうか、町は確認していなかった。

○契約解除について

契約書では、事業者に重大な瑕疵があった場合は契約解除ができる。

○衛生管理への対応

何回か指導をしている。今年の3月にも衛生管理の徹底を指導したが、今年度も12件発生した。

町は教育委員会の決定のとおり、平成27年1月13日の政策会議で全員給食実施を決定し、平成27年6月議会に補正予算を計上。議会は賛成多数で可決。平成28年1月12日から給食を開始しました。

旧吉田茂邸 基金積立・運営費など増額

4月にオープンした旧吉田茂邸の入館者数が見込みより多く、入館料が2千825万円の増となったことに伴い、基金へ2千200万円を積み立てる。また、臨時職員の増員を行うほか、リーフレットや観覧券の印刷、研修室内へ防犯カメラの設置、休憩用の椅子などの必要な備品を購入する。

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に5億2,378万4,000円を追加し、予算の総額は103億8,200万8,000円となりました。

審議ではさまざまな事業に対する質疑が、活発に行われました。



問 当初予算に基金への積立金があるのに、なぜ増額する必要があるのか。

答 足りない備品等の制作も検討しているため、少しでも基金を積み立てておく必要があるという判断である。

問 臨時職員はどのくらい募集し、どのように配置していくのか。

答 当初は受付に1日当たり2、3名の配置を考えていたが、現在は4名を基準に配置している。延べ人数で、新たに384人分を計上したい。

問 受付だけでなく、来館者への案内等にも対応できるように研修も行ってほしいが。

答 案内業務もスムーズにできている。引き続き必要に応じて研修も加えていきたい。

問 研修室の利用内容は、「決断」の場としての研修は行われたか。

答 公の会議や一般団体の研修が行われた。吉田邸としての研修は企画中であり、「決断」をテーマにした研修もこれから開催していく。

問 今後リピーターを増やす方策はあるか。

答 1年目の大きな目的は、まず旧吉田茂邸を知ってもらい来館していただくことである。メディアに取り上げてもらおうPRを積極的にを行い、来館者を増やし、リピーターへつなげる検討を行っている。

問 課題である飲食施設整備の検討は。

答 希望の声はあるが、現状はスペースの確保が難しい。公園全体として考え、関係機関と協議する必要がある。

増

国民健康保険の

広域化に向けた積立金

平成30年から都道府県も国民健康保険の保険者となる。保険税が引き上げになった場合、被保険者の負担を減らすために基金への積み立てを行う。

増

山車の修繕のため、交付金を創設

町指定文化財修理補助金は、平成26年度の寄付金を原資とし修理費の2分の1を補助するものがあるが、特に御船祭の山車の修繕にという寄付者の意向から、新たに大磯御船祭山車等修理交付金を創設し全額を補助する。これにより、町指定文化財修理補助金118万8千円を大磯御船祭山車等修理交付金に切りかえ、237万6千円を交付する。

平成29年度一般会計補正予算の主な内容

歳入	
旧吉田茂邸入館料	2,825万円
小学校費寄付金	200万円
歳出	
旧吉田茂邸整備活性化等基金への積立金	2,200万円
御船祭山車等修理交付金	119万円
本庁舎修繕費	196万円
小学校備品購入費	210万円
本庁舎建設基金積立金	9,000万円
公共施設整備基金積立金	1億円

平成29年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計	103億8,201万円 (5億2,379万円を追加)
国民健康保険事業特別会計	48億3,973万円 (2億3,239万円を追加)
後期高齢者医療特別会計	9億4,042万円 (6,142万円を追加)
介護保険事業特別会計	32億5,151万円 (1億5,051万円を追加)
下水道事業特別会計	18億6,203万円 (3,703万円を追加)

金額は、1万円未満を四捨五入

本庁舎修繕費

本庁舎3階トイレの汚水管改修などの緊急修繕を実施したことに伴い、196万3千円を増額する。

問 3階トイレの緊急修繕の内容は。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

問 他の階で漏れたら補正で対応するのか。

答 事前に改修が必要と判断できる部分と、その

問 3階トイレの緊急修繕の内容は。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

問 緊急修繕を行った。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

問 緊急修繕を行った。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

問 緊急修繕を行った。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

問 緊急修繕を行った。

答 老朽化により排水管が詰まったことで、汚水が階下の事務室等へ漏れた可能性があり緊急修繕を行った。

小学校の楽器を購入

両小学校の教育活動のためにいただいた寄付金200万円を活用し、コンパクトグランドピアノやアコーディオンなどの楽器を購入するため、学校備品購入費を210万円増額する。

下水道工事費

平成29年度から平成30年度の2カ年で国府新宿地区の延長435m区間に雨水管を整備するにあたり、積算を見直したところ、8千万円の増額が必要となった。事業の総額は6億100万円となる。

本庁舎建設基金

本庁舎建設基金条例は平成12年に施行、毎年1億円を積み立てるとしているが、財政状況から継続的な積み立てができておらず、平成28年度より、前年度の繰越金から積み立てを再開した。今年度は当初予算で1千万円を見込んでいたため9千万円を増額する。

また、公共施設整備基金へも1億円を積み立てる。

問 公共施設総合管理計画が定まったが、町の大きな施設である本庁舎のあり方について、今後の方針は。

答 今年度、個別計画の策定に入ってくる。個別計画は3期・30年の計画であり、施設の耐用年数などをふまえて定めるため、議会の意見もいただき進めたい。

問 公共施設総合管理計画が定まったが、町の大きな施設である本庁舎のあり方について、今後の方針は。

答 今年度、個別計画の策定に入ってくる。個別計画は3期・30年の計画であり、施設の耐用年数などをふまえて定めるため、議会の意見もいただき進めたい。

問 公共施設総合管理計画が定まったが、町の大きな施設である本庁舎のあり方について、今後の方針は。

答 今年度、個別計画の策定に入ってくる。個別計画は3期・30年の計画であり、施設の耐用年数などをふまえて定めるため、議会の意見もいただき進めたい。

問 公共施設総合管理計画が定まったが、町の大きな施設である本庁舎のあり方について、今後の方針は。

答 今年度、個別計画の策定に入ってくる。個別計画は3期・30年の計画であり、施設の耐用年数などをふまえて定めるため、議会の意見もいただき進めたい。

継続費

2カ年の事業が終了

郷土資料館リニューアル事業	一般会計
・設計監理委託料 支出額 745万2,000円 (株) 坂倉建築研究所	
・工事請負費 支出額 8,262万円 (株) 丹青社	
公共下水道整備事業	下水道会計
・設計監理委託料 支出額 1,034万6,400円 (公財) 神奈川県都市整備技術センター	
・工事請負費 支出額 2億4,462万円 (株) アコック	

議会は定例会最終日の9月29日、中学校給食での問題発生に関する決議案を賛成多数で可決しました。

これに対して町長は、給食導入の経過や味の改善、異物混入についての対応の甘さを説明しました。そして、「初期対応が甘かったことや子どもたちに精神的な負担をかけたことは痛恨の極み、ざんきに堪えない。現在業者との契約変更を協議中で10月末に結論を出したい」との考えを明らかにしました。

中学生が安心して 昼食を食べることができる 環境整備を求める決議

平成28年1月から学校給食が始まって1年半が経過した。その間味付けについては改善がみられたが、全国平均6.9%を上回る26%の残食率の高さと84件の異物混入がマスコミに取り上げられ、生徒たちの健康や生活環境への影響が懸念される事態となった。

また、町は異物混入の報告を、昨年3月28日以降行わなかったため、議会はテレビ放映で事実を知ることになった。これは町民の代表である議会軽視であり、非常に遺憾である。

よって、議会は次の点を要望する。

1. 町長は教育委員会と一体となって、一刻も早く生徒たちが安心して昼食を食べることができる環境を整えること
2. 町長はこのような事態に至ったことについて深く反省し町民に謝罪すること

平成29年9月29日

提出者 渡辺 順子

賛成者 吉川 重雄

坂田よう子

清田 文雄

片野 哲生

高橋 英俊

玉虫志保実

鈴木 京子

社会福祉法人大磯恒道会の運営がより適切になされるよう 神奈川県での積極的な指導を求める意見書

大磯恒道会は昭和49年に大磯町に特別養護老人ホーム「恒道園」を開設して以来、地域密着型の介護施設と合わせ、高齢者を介護する町民が頼りにしている法人である。

しかし、この4年間、熟練職員の退職などで職員配置が不十分になり、昨年は県から介護保険法による改善勧告と指導がなされた。

また、今年から法人経営が悪化し、職員給与の遅配などが起こり、県が監査、勧告を行い経営陣が退任することになった。

よって、議会は県に対して、新たに法人の経営を任せられる者が社会福祉に造詣が深く、大磯恒道会の運営理念を理解し、利用者や職員が安心して利用できる施設運営を行うよう指導を行うよう要望する。

平成29年9月29日

提出者 吉川 重雄

賛成者 坂田よう子

清田 文雄

片野 哲生

高橋 英俊

奥津 勝子

二宮加寿子

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

国際的に約束されている2020年以降の温室効果ガス削減目標を達成するためには、森林吸収源対策の推進が不可欠である。

しかし、森林が多い山村地域の市町村は林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい状況にあり、担い手育成や山村対策に

主体的に取り組むための恒久的な財源が不足している。

政府・与党は「平成29年度税制改正大綱」において、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め「全国森林環境税」の創設に向け、具体的な仕組み等について検討する方針を示した。

平成29年9月29日

提出者 清田 文雄

賛成者 坂田よう子

高橋 英俊

二宮加寿子

議案に対する各議員の賛否結果一覧表

議案番号	議案	議員名（議席順）											結果	掲載ページ番号			
		竹内恵美子	清田文雄	吉川重雄	三澤龍夫	片野哲生	高橋英俊	奥津勝子	二宮加寿子	坂田よう子	玉虫志保実	鈴木京子			渡辺順子	柴崎茂	関威國
27	平成29年度大磯町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	10 11	
28	平成29年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
29	平成29年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
30	平成29年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
31	平成29年度大磯町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
32	平成28年度大磯町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	—	不認定	2 8	
33	平成28年度大磯町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—		認定
34	平成28年度大磯町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—		認定
35	平成28年度大磯町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—		認定
36	平成28年度大磯町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—		認定
意見書第2号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—	可決	12
意見書第3号	社会福祉法人大磯恒道会の運営がより適切になされるよう神奈川県の積極的な指導を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	
決議案第1号	中学生が安心して昼食を食べることができる環境整備を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない

みなさんの陳情はこうなりました

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第5号	「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情	薬害肝炎弁護団・原告団 鈴木 順	薬害肝炎問題の全面解決に向け、薬害被害者が安心して暮らせるよう、国に対し、法改正を求めるよう、意見書の提出を求めるもの。	福祉文教	薬害被害者が、安心して暮らすために必要なことであり、人道的にはわかるが、現実的には難しいと思う。 趣旨採択 (採択2、趣旨採択4)
第6号	所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める陳情	平塚民商婦人部 部長 高瀬 初江	国に対し、家族従事者の人権を認めない所得税法第56条を廃止するよう意見書の提出を求めるもの。	総務建設	青色申告では、家族、従業員への給料は必要経費として認められている。申告については、個人の選択の自由が守られており、矛盾した制度ではないと考える。 不採択 (採択1、不採択5)
第7号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」についての陳情書	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳 (新潟県村上市議会議員)	森林、林業、山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を強く求めるため、政府、国会等関係要路に対し意見書の提出を求めるもの。	総務建設	全国的に山に手を加えられておらず、里山は荒れ放題となっている。税がしっかりと投入できる環境づくりが必要。 採択 (採択3、趣旨採択1、不採択2)

※趣旨採択：「願意は理解できるが、実現性の面で確信が持てない」といった場合に採られる決定の方法。

誰でも陳情書や請願（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。

詳しくは議会事務局にお問合せください。

61-4100（内線281）※提出の締め切り（12月定例会分）11月20日（月）午後5時まで

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、9月11日・12日に9人の議員から21問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

明治150年記念 大磯邸園の実現は

積極的に対応する



坂田よう子

問 来年、平成30年は明治元年から起算し150年に当たり、国は、「明治150年」に向けた施策を推進することとなった。国土交通省は明治期の立憲政治の確立等に関する歴史遺産の保存・活用のため「明治記念大磯邸園（仮称）」整備を施策に掲げ、旧伊藤博文邸「滄浪閣」を中心とする建物群等の一体的、有機的な活用を図るとした。

町長 国・県との連携を密にしながら、積極的に対応していきたい。

問 国土交通省は、来年度予算の概算要求に「明治記念大磯邸園（仮称）」整備を盛り込んだ。旧伊藤博文邸のほか旧池田成彬邸、旧大隈重信邸、旧陸奥宗光邸とその周辺、約6ヘクタールを国営公園とし、要求額は273.3億円の一部を予定とした。長年、邸園文化圏再生構想に携わってきた関係者の思いを大切に実現に向かうことを期待する。

答 湘南邸園文化祭も12回目を迎えており、大きな位置づけとなる。



湘南邸園文化祭

災害用マンホール トイレの使用は

高齢者は使用しづらい



二宮加寿子

問 子どもや高齢者、社会的弱者の視点について、国府小学校の災害用マンホールトイレは水圧が弱く健常者でも使いづらい状況で、高齢者などはさらに使いづらいと伺うが、災害時に実際にマンホールトイレとして使用できるか。

答 国府小学校ではプールの脇に災害用マンホールトイレが設置できるよう配置され、し尿を流す水はプールとの水位の差を利用して流す仕組みとなっている。水圧が弱いため、バケツに水をくみ上げて流す方法がよいが高齢者などは使用しづらい



災害用マンホールトイレ

との意見がある。避難所のトイレが良好な環境となるよう検討、整備を進めていく。

問 災害用マンホールトイレの数が少なく、使えない状況の対策は。

答 断水で排水ができない場合、町では洋式便器に設置する便袋を平成28年度7千240回分の備蓄。平成29年度2千回分を購入予定。

問 学校トイレ洋式化及び体育館の多目的トイレ設置状況は。多目的トイレはオストメイト対応か。

答 7割程度が洋式化。3校には設置されているが対応していない。

決議審査

特集・給食

補正予算

決議・意見書

審議結果・陳情

一般質問

アンケート

「東の池」の蓮の花の復活は

水利組合に働きかける



竹内恵美子

問 「東の池」は町所有の普通財産である。その「東の池」の蓮の花が、3年も咲いていないが、

町長 池の水を抜かねばならないため、調査は実施していない。

問 花を咲かせるための方策は。

答 関係機関や水利組合とも情報を共有し、支援策等の検討を進める。

問 調査が簡単なものではないことはわかっているが、あらゆる機関を使って調べてほしいが。

答 神奈川県の関係機関、東海大学、神奈川大学等と調査・研究で連携できるかどうか模索する。



花が咲いていない東の池

問 水抜きはどうか。

答 池の管理をしている水利組合に働きかける。

問 どこがやるか、誰がやるのかではなく行政が地域資源として積極的に進めていってほしいが。

答 「東の池」の環境改善に向けた支援を検討させていきたい。

町長 法的なところでしっかり検討する。

問 蓮の花が咲いたら、夏の観光名所の大きな目玉となるのでは。

答 取り組みや連携を進めることで、大磯の魅力発見に生かしていく。

その他の質問
○運動公園の活用

中崎町長の行政に 整合性はあるか

あると自負している



柴崎 茂

問 大磯町にはお金がないと言いつつ、町長は自分たちの給料を増やした。町長になって、実際はお金があったのか。

町長 歳費、火葬料、町の借金のこと、整合性はとれているかというご質問だが、私が町長に就任して7年たち、2度の町長選挙を経て町民の皆さんの負託に応え、皆さんの期待に応えることを第一に考え町政運営を進めてきたことは、胸を張って申せる。町全体、町の将来を見据え計画的に施策事業等に取り組んできた。町の財源が限られている中、いかに皆さんの

期待に応えるかを常に念頭に置き費用対効果、事業の優先度について様々な選択、また、高齢化社会の進展につながる扶助費の増加といった状況など町全体の取り組み状況などをふまえ、予算編成をしてきた。整合性はとれていると自負している。

問 箱物大好きな町長と、いったらそれまでだが、今後の維持費のこと、人が増えなければ借金が増えるだけで、返す人がいない。日本全体がそうで大磯町だけが増える要因はひとつもない。

町長 これは意見の対立、考え方の違いである。

②所得別階層分布

所得金額等	人数(人)	割合
100万円以下	4,572	24%
100万円超300万円以下	7,647	41%
300万円超500万円以下	3,379	18%
500万円超700万円以下	1,602	9%
700万円超1,000万円以下	847	5%
1,000万円超	622	3%
合計	18,669	100%

※非課税者、分離譲渡所得等の者を含む。
(平成29年8月現在)

課税根拠となる住民所得

市民農園の あり方について問う

利用しやすい運営を



奥津勝子

問 中高年の方たちが、耕作放棄地を活用し、市民農園として利用している。野菜や果物を作られているが、農地の保全本も回り、健康増進のためにも良い制度である。

町の市民農園と県の農園の利用状況は。

町長 市民農園として7カ所267区画、うち239区画が利用され、90%の稼働率、県は4カ所29区画、うち28区画利用、ホームファーマー事業を実施。

問 市民農園の管理は適正か。

答 各農園を見回り、利用者へ周知し指導、シルバー人材センターの方に

お願いする。雑草が生えないシートを張り対応。

問 今後の見通しと利用者らの要望は。

答 区画の面積の工夫とか、利用者の要望、ニーズを更新時期に合わせて検討していく。

問 災害時に、現在営業している農地を、防災農地として指定する考えは。

町長 災害時に、住民の安全確保と円滑な復旧活動に役立てることを目的としている。生産緑地の対応地区外だが、地域防災計画に基づき、県や関係機関と連携し、対応活動対策を進めて行く。



西小磯の市民農園

中学校給食、 早急に改善策を示せ

変えることは困難



吉川重雄

問 中学校給食がスタートしてから1年半が経過し、主食・副食が各クラスで2割から3割以上も食べられていない状態が続いている。育ち盛りの中学生にとって異常ともいえる現状を看過することはできない。町長は早急にちゅうちよすることなく改善策を示すべきである。見解を求む。

町長 残食量が多いことについて委託業者と話し課題は共有している。しかし現状の改善はデリバリー方式では添えない認識は十分知っている。みんなが同じものを食べやすい共通の話題を持って



完食したのは1人だけの給食

いけるようなスクールランチを考えた。

問 この写真はある日の一クラスの事例で30人中、おらずは29人が残食、ごはんは22人が残食である。育ち盛りの中学生が食べられない現状を見て、なぜ食育と語れるのか。昼食が食べられない、食べないで勉強や部活動をすることがいいと思うか。このような思いを持って卒業させていいと思うか。行政の責任者である。認識を問う。

町長 決断し変えていくことは困難である。

その他の質問
○危機的な恒道会の問題

中学校給食は 誰のためのものか

子どもが食を学ぶため



玉虫志保美

問 デリバリー方式の中学校給食は、本当は誰のためのものなのか。

教育長 子供たちに正しい食生活の習慣を身につけてもらい、食に関する正しい知識を学んでもらうためのものである。

問 現在の給食形態は大磯町から中学生へのいじめではないか。

町長 いじめ防止対策推進法において、いじめとは、児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為である。

その他の質問
○大磯駅前用地の利活用について



栄養があるから食べてね

庁舎ロビーでの 物品販売の考えは

場所と時間を提案した



渡辺順子

問 大磯町福祉作業所連絡会から、庁舎1階で物品を販売したいとの要望があるが、検討はしたか。

答 町から販売可能な場所と時間帯、12時から1時半を提案して、了解の返事をもらった。

問 提案した場所は狭くて対面販売もできない。販売時間は短く利益も上がらない。トイレも近い。他に適切な場所があるか。

答 まず始めて、可能性を探ってから考える。

公共施設の再編について
問 現在町の主な公共施設全体の維持管理費用は、

答 建物の維持管理運営



町が提案したトイレそばの販売場所

に年4億円ほどかかっている。将来建て替える場合は48億円近いコストがかかる。庁舎、消防署、学校などの行政サービスの根幹施設を除き15%の削減を目指す。道路等インフラは長寿命化を図る。

問 町民ニーズの把握と町民が理解し、納得できる説明が求められるが。

答 計画の前段から十分な時間をかけて意見を聴取・検討する。各施設の状況にあった町民参加を行い、議会の意見もしっかり聞いていく。

その他の質問
○景観形成重点地区である大磯駅前整備方法

公用車使用の公務に 疑問があるが

町政に有用な仕事だ



鈴木京子

問 町長の動向、町の交際費、公用車の運転日報、職員の旅行命令簿を突合すると、町長の公務内容に疑問が生じる。

答 単独で自民党や政府関係者、企業トップと会う理由は何か。

町長 町政に有効、有用な仕事を公務という。状況判断により私1人で出席、面会することもある。

問 今は情報公開の世界でインターネットも発達している。単独で動くのは原則やってはならないと思う。森友、加計のよう

に、後で説明がつかないことはやってはならない。

公用車のガソリン代、人件費、高速道路料金も全部税金である。

答 透明性は確保されていると考えているのか。

問 公用車の運転日報に記載があり、動向にはなかった今年2月17日の東京の件だが、16時に役場を出て帰りが21時45分だった。走行距離は143キロ。公務内容は何だったのか。

答 小学校の科学実験に協力された民間企業の情報交換の場に出席した。

のことはや

乗車日	行先	使用時間	備考
2/16	町内 高産	15:00~15:45	
2/17	町内 高産	9:00~10:45	
2/18	町内 高産	16:00~21:45	
2/22	町内 高産	9:00~12:30	
2/23	町内 高産	13:15~13:45	
2/24	町内 高産	14:20~18:30	
2/25	町内 高産	14:20~21:10	
2/26	町内 高産	13:10~17:45	
2/27	町内 高産	16:45~21:10	

公用車の運転日報

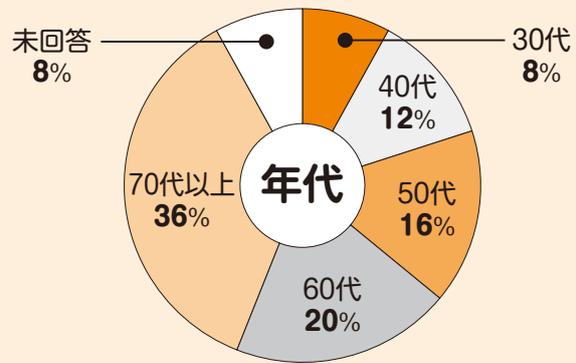
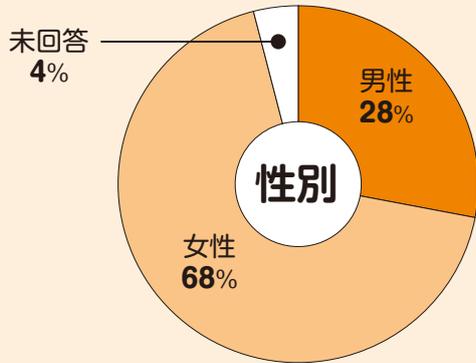
議会だよりのアンケート結果をお知らせします

議会だより編集委員会では、読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指して、第188号（7月27日発行）においてアンケートを実施し、8月31までの間に計25名の方から回答をいただきました。

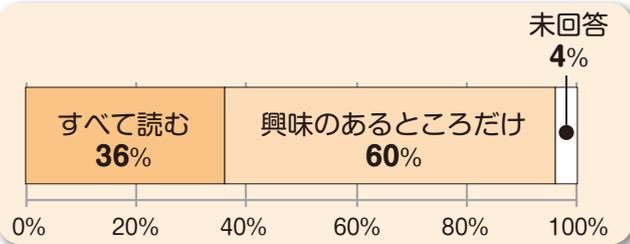
お忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

アンケート結果やお寄せいただきましたご意見を参考にし、より良い紙面作りを目指してまいります。

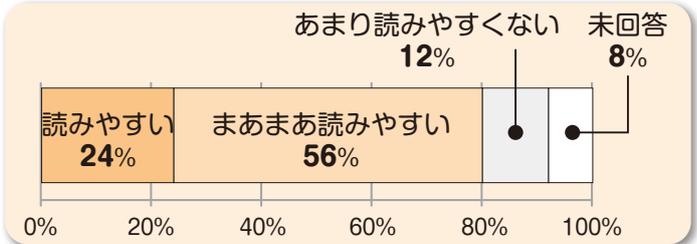
Q あなたの性別、年代を教えてください



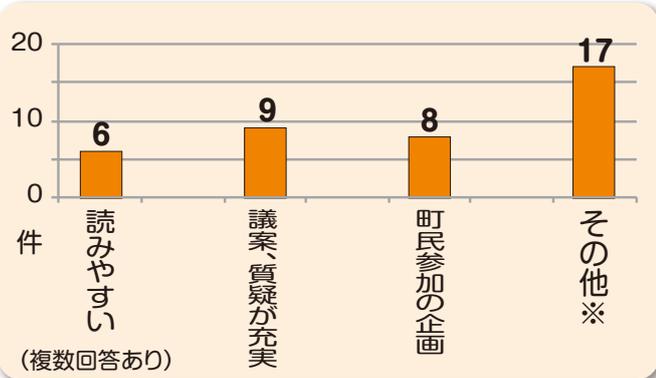
Q 議会だよりを読んでいますか。



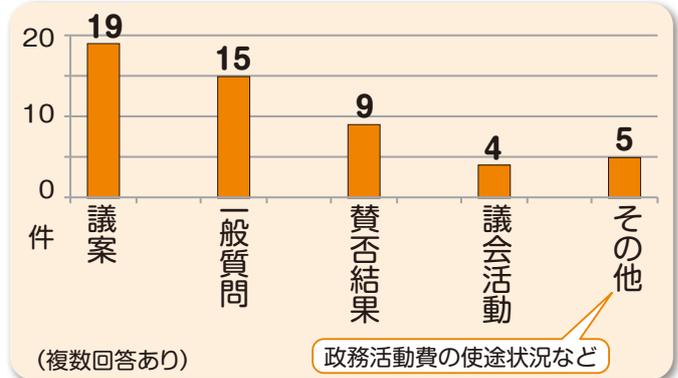
Q 記事の配置など読みやすい構成になっていますか。



Q どのような議会だよりであれば、読みたいと思いますか。



Q 興味のある記事は何ですか。



※その他としていただいたご意見（感想も含む）

- 質問する議員さんの写真がのっていて親しみを覚える。
- 最近の議会だよりは読みやすく、よりよいものへ改善していこうという意欲がみられ好感もてる。議会だよりが身近なものになった。
- 議会傍聴者にインタビューをしたらどうか。町民にとって開かれた議会であることを知らせたほうがよい。
- 議案の内容や質疑内容などをもう少し詳しく知りたい。時々簡潔すぎると感じることもある。
- 見出しも分かりやすく、これからも読み続けたいと思う。
- 一般質問の議員さんの写真が不自然に感じる。
- 小さなイラストでもポップなものが入っていると若いお母さんでも読んでみようという気持ちになると思う。

(議会や議会活動に対するご意見等も多数いただきました。紙面の都合上すべてのご意見を掲載できませんので、議会だよりに関する主なご意見を掲載させていただきました。)

はい！ポーズ

教会のお庭に散歩に来た「もあなこびと」のこやの園児たち。すぐに庭の片隅にあった大きな空の水鉢を発見し、最初は周りで遊んでいましたが、そのうち中にスッポリと入り、お顔を出しました。



「はい！ポーズ」あまりの可愛らしいしぐさに、つつい何度もシャッターを押してしまいました。

撮影
議会だより編集委員会

議会だよりの表紙を飾りませんか

議会だより編集委員会では、第190号（平成30年1月26日発行）の表紙写真を募集しています。

テーマ：「笑顔」

応募期間：平成29年12月27日まで受付
※応募上の注意や応募方法は、議会だより第184号または大磯町議会ホームページでご確認ください。

問い合わせ：大磯町議会事務局

議会報告会へぜひご参加ください

決算報告のほか、少人数に分かれて意見交換もを行います。ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。

11月11日（土）

10：00～11：30 国府支所2階会議室

15：00～16：30 保健センター2階研修室



当日はこの「議会だより」をお持ちください

12月定例会

11月29日（火） 議案上程等

12月 7日（木） 一般質問

8日（金） 一般質問

14日（木） 委員長報告等

湘南ケーブルテレビにて放送されます。
生放送9時～、再放送は19時～

SCN101チャンネルにて放送

議会スナップ



9月22日 決算特別委員会
中学校給食について厳しい質問



10月17日 群馬県吉岡町議会視察来庁
議会改革について視察

【編集後記】

既に皆さまご存じのとおり中学校給食問題がテレビ・新聞等で報道され、町民の皆さまはもとより全国からご心配の電話をいただきました。議会だより編集委員会も経過を分かりやすくお伝えできなかったように何回も校正を重ねました。お読みになった感想などお寄せください。

さて、恒例になりました議会報告会は11月11日（土）に開催いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【発行責任者】

議長 関 威國

【議会だより編集委員会】

委員長 渡辺 順子

副委員長 清田 文雄

委員 高橋 英俊

奥津 勝子

二宮加寿子

玉虫志保実

【オプザーバー】

副議長 竹内恵美子